

公式大会試合細則

第1条 連盟の公式大会は本細則により行う。

第2条 試合の回数・試合時間・リーグ戦・ワールドゲーム等は次の通りとする。

1. 試合回数は9回戦（マスターズ、シルバーは7回戦）とする。
正式試合の成立は5回完了時とするが、5回以前でも規定時間に達したならば試合は成立する。。
2. 試合開始時刻から1時間40分経過した場合は新しいイニングには入らない。
延長戦は行わず、9回戦（マスターズ・シルバーは7回戦・試合時間1時間30分）
完了または制限時間を過ぎて同点の場合はタイブレーク方式を行う。
※タイブレークは、一死満塁、継続打順で勝敗を決するまで行う。
但し、決勝戦の試合時間は原則2時間とする。
3. リーグ戦は9回戦（マスターズ、シルバーは7回戦）または制限時間を過ぎて同点の場合はタイブレーク方式を行わず引き分けとする。
4. ワールドゲーム
 - ① 9回戦試合は、5回以降10点差、7回以降7点差になった時、試合終了とする。7回戦試合は、5回以降7点差になった時、試合終了とする。
 - ② 天候異変（降雨・雷鳴等）で試合続行不可能になった時、審判員の判断により試合の終了を決定する。
注1：5回終了した時点で試合成立とする。
注2：5回表を終了した時点で後攻チームが勝っている場合、試合成立とする。
なお、同点の場合は再試合とする。
5. 試合は本年度公認野球規則及び連盟取り決め事項により行い、使用球場のグラウンドルールは別途定める。
6. 用具は全日本軟式野球連盟公認マーク（J S B B）入りのものを使用する。
 - ① 捕手はマスク・レガース・プロテクター・捕手用ヘルメットを使用する。
※マスク（スロートガード付き）、捕手用ヘルメットはSGマークのあるものを使用する。
 - ② 打者・次打者・走者・ベースコーチは、ヘルメットを着用する。最低7個用意する。
 - ③ 試合球は、ケンコーボールM号とし、チーム負担とする。
打順表提出時に未使用ボール2個を審判に手渡し、試合中の紛失等不足分は紛失の責任チームが補充する。ファウルボール等の回収は原則攻撃側が行い、汚れを落として球審に渡す。
 - ④ 金属バット・ハイコン（複合）バットは、J S B Bマークが印字されたものを使用する。
なお、木製バットには公認制度が無いため硬式用でも使用できる。
※上記用具が不備・不足の場合は、試合を行うことができなく不戦敗となるので監督・チーム責任者は充分注意する。
 - ⑤ 投手はサングラスを使用できない。なお、帽子の上に乗せることは禁止とする。
 - ⑥ 捕手は、捕手用ミット以外使用できない。
 - ⑦ 一塁手は、一塁手用ミットまたはグラブ使用を認める。
 - ⑧ 外野手は、捕手用ミット・一塁手用ミットの使用を認めない。
7. 出場チームは、試合開始時刻30分前までに当該グラウンドに集合する。到着後直ちに審判員へ

報告し、打順表（3枚綴り）を受け取る。打順表に出場選手及び控え選手全員記入（年齢も記入）の上、試合開始15分前まで審判員に打順表を2枚（1枚はチーム控え）提出する。なお、試合開始以降遅れてきた選手は、球審へ報告後試合に出場できる。

8. 雨天等による試合の有無は、当日のグラウンド状況により当該審判員が判断する。第1試合のチームは、必ず試合予定の球場に出向き審判員の指示に従う。第2試合以降のチームは、大会本部に問い合わせをする。（大会本部☎090-1032-0560）なお、電話が集中するので各チーム代表1名とし、極力連盟ホームページにて確認する。

9. 新規加入チームは、原則として3部Bに所属する。

10. 各大会において、1部・2部・3部A・3部B・マスターズの優勝・準優勝チームを表彰する。

11. 前項の1部以下の優勝・準優勝チームは、次期大会から一つ上部のクラスに昇格する。

（2部→1部、3部A→2部、3部B→3部A）

12. 各チームが3大会連続1回戦で敗退した場合は、次大会から一つ下部のクラスに降格する。

13. 前10項・前11項以外のチームでも戦績により昇格することもある。

第3条 この細則の改正は、理事会の議決を経て総会に報告する。

1. 平成25年2月23日 改正

2. 平成30年6月1日 改正

3. 令和2年2月5日 改正

4. 令和4年4月17日 改正